



発行者
諫早市立真城中学校
校長 山内 昇

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。 (德育)
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。 (知育)
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。 (体育)

○ 長崎県PTA研究大会諫早大会が開催されました！

11月22日（土）に、第61回長崎県PTA研究大会が小野体育館で開催されました。諫早文化会館ではなく、なぜ小野体育館なのか、その答えは下の写真です！



会場に入ると、中央にプロレスのリングが鎮座し、今までにない光景に驚きました。開会行事のあいさつもリングの上で行われ、リングインの際には、2人の補助員がロープを上下に広げてくださっていました。中には、「今日の挨拶のために、筋トレをしてきました！」とユーモアのあるあいさつをされる方もおられて、とても研究大会とは思えない、和やかな雰囲気で会が進みました。参加された方の笑顔も、いつになくたくさん見られたと感じました。

諫早市PTA連合会の方々が中心となり、かなり前から準備をしてこられたそうです。実行委員の方々をはじめ、諫早市のPTA＝保護者の方々のパワーに驚かされるばかりでした。この熱気を、真城中の保護やの皆さんに少しでも伝えたいと考え、この学校だよりに掲載しています。県PTA連合会会長 小濱さんの、開会行事でのあいさつの力強い言葉からは、PTAがこれまでに果たしてきた役割の大きさ、これからも、子どもたちの健全育成には欠かすことのできない、という強い信念が伝わってきました。まさに、「不易」だと感じます。そのうえで、これから活動の在り方を模索したいという「改革」への思いも伝わってきました。

今回の大会のスローガンは、「友になり共につくろうおニューなPTA～新時代への第一歩 PTA ば元氣にするバイ！～」でした。新時代のPTAをこの真城中から発信できたらと思います。この伝統ある、真崎・真城地区なら、きっと実現できると感じます。



(大会冊子です)

○ トイレ工事の進捗状況について

現在、B等トイレの改修工事が行われています。和式の便器が撤去され、新しい配管の設置、コンクリート・タイル貼りという段階だそうです。タイルをきれいに貼るため、下地となるコンクリートをきれいに塗るのに時間がかかるそうです。12月末までには、B棟トイレは完成予定です。年明けは、A棟の工事に移りますが、B棟で全学年のトイレが対応できるので、生徒たちの不便も解消されます。

いつも感じるのは、工事現場の整理整頓です。いつ見ても整っています。このことからも、信頼できる業者さんであることが伝わります。廊下ですれ違った時も、よく挨拶をしてくださるので、安心です。

「あいさつ」と「清掃」、学校でも生徒たちに大切なこととして教える「基本」です。これからも「基本」を大切にしないかなければと、強く感じます。

今日の給食（25日）

今日（25日）の給食は、カレーうどん、鶏とレバーのアーモンドがらめ、小コッペパン、でした。



鶏とレバーのアーモンドがらめは、レバーが苦手な人でも食べやすくなるように調理されており、アーモンドが入ったことで、すいすい食べることができました。かなり手間のかかったメニューだと感じました。また、カレーうどんも、カレーの中に出汁が入っており、適度なとろみで、元祖のカレーそばを連想させるメニューでした。私は、カレーがシャツにはねないように慎重に食べましたが、生徒たちは、大胆にすすっていたように見えました。あとで、自分のシャツを確認してほしいと思います。

とても美味しいいただくことができました。しかし、その陰には、多くの人たちの工夫と努力があることに気付いてほしいと思います。

☆ お知らせ【重要】

12月から、部活動終了：17時15分、完全下校：17時30分となります。12月は、冬至までどんどん日没の時間が早くなります。お子さまの安全を守るために、上記の時間の厳守をお願いします。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

